

このたび、慢性疼痛高度医療人養成プログラムの第2期コース修了式が行われました。

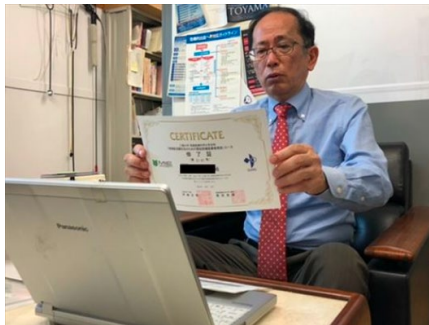
2020 年度後期の講義と、2021 年度 8 月の体験型学習のワークショップの両方に合格した学生に対して、三重大学では 10月 15 日（金）に、鈴鹿医療科学大学では 11月 11 日（木）にオンライン形式で修了式が実施されました。豊田長康学長からは、「2つの大学の異なる学生が一緒になって、慢性疼痛をテーマにしてディスカッションを行うことは、通常の講義では得られない大変貴重な機会になったと思う。この経験を活かして今後医療者として人々の役に立って欲しい」とお話があり、学生一人ひとりに修了証が授与されました。

修了生からは、他学科、他大学との交流で普段と異なる視点から考えることの大切さを知れた、多職種連携に必要なコミュニケーションについても学ぶことできた、医療分野だけではなく社会に出ても、どの場面でも必要になる内容だったと感じた、などの声が上がりました。

修了生には今後の在学中も、痛みについての学修をさらに広げると共に、多職種連携チーム医療についても知識と体験を発展させてもらいたいと思います。そして、プロジェクトのサポートや他の学生たちの学修のけん引役となり、卒後の地域医療での活躍の原資とされていくことを期待します！！

三重大学 修了式

2021年10月15日（金）



鈴鹿医療科学大学 修了式

2021 年 11月11日（木）

